

緑化樹木の病虫害実態調査

熊本県林業研究指導所 久保 園 正 昭

はじめに

近年、環境緑化の気運の盛り上がりとともに緑化樹木に対する関心は急速に高まりつつあるが、これらの緑化樹は生育環境に恵まれず、各種の病虫害が頻発している現状である。このような環境下にある緑化樹の病虫害を防除するための基礎資料を整備するため、その実態調査を行ったので概要を報告する。

1. 調査の方法

調査地として八代、荒尾、水俣、熊本の各都市を選定し、緑地形態別（街路樹、都市公園、学校構内）に各都市ごとに代表的な樹種を選び、調査の対象とした。そして、各対象樹種について単木的に寄生している病虫害の種類、被害の程度等について前期（4～6月）と後期（9～11月）の2回調査した。

2. 調査の結果

緑地形態別に、病虫害の発生（被害）の程度を樹種別に～冊に区分して表示した。（別表）

A. 街路樹

13種類の街路樹について調査したが、街路樹は一般にアスファルトに囲まれて植栽され、自動車排気ガスの影響を受けやすい条件下におかれているため、樹木が生活するためには不利な環境にあるが、直接病虫害によると思われる衰弱木、枯死木はほとんどみられなかった。虫害ではミノガ類が多く、樹種に寄生しており、中でもプラタナス、ニセアカシア、メタセコイア等に目立って多かった。病害の発生は少なく、トベラのすす病、ポプラの落葉病、ヤナギのサビ病等が認められる程度であった。

B. 都市公園樹

各都市の公園に植栽されている29種の樹木について調査したが、虫害ではミノガ類が大半の樹種に寄生し、ことにクスノキ、ヒマラヤシーダー、サクラ、ニセアカシア等に目立って多かった。ほかにはマサキのユウマダラエダシヤク、マサキ、ナギ、ハマヒサカキのカイガラムシ類、ニセアカシア、イヌマキのアブラムシ類の寄生が目立ち、ついでサクラのヒメクロイラガ、サンゴジュのモンクキバチ、ポプラのセグロシヤチホコ、ヤナギのアブラムシ等が多かった。病害ではサクラのせん孔褐斑病、マサキのうどんこ病、ポプラ

樹種別病虫害の発生状況 ④ 街路樹

樹 種	場 所	調査 本数	虫 害	病 害
イ チ ョ ウ	熊 本 市	236	ミノガ(一～十)クスサン(一)	胴枯性病害 (一)
ク ス ノ キ	〃	32	ミノガ(+)	
カイズカイブキ	〃	153		
ニセアカシア	〃	64	ミノガ(+～十)アブラムシ(+)	
ケ ヤ キ	〃	77	ミノガ(+)	褐 斑 病 (一)
プラタナス	{熊本八代 荒尾市	393	{ミノガ(+～十)ヒメクロイラガ(一～十) ゴマダラカミキリ(一)モンシロドクガ(一)	{胴枯性病害 (一) 褐 点 病 (一)
ホルトノキ	八 代 市	71	{スジオビハマキ(+～十)ツノロウカイガラ(+) ミノガ(一～十)	
シダレヤナギ	{八 代 市 荒 尾 市	102	{セグロシヤチホコ(+) アブラムシ(一～十) ミノガ(一)	さ び 病(一～十)
ナンキンハゼ	〃	116	ミノガ(一)	
トベラ	荒 尾 市	22	アブラムシ(一)カイガラムシ(一)	すす 病(+～十)
メタセコイア	〃	62	ミノガ(+～十)	
ポ プ ラ	〃	111	セグロシヤチホコ(+～十)	落 葉 病 (+)
トウカエデ	〃	11	ツノロウカイガラ(+) ミノガ(一)	

樹種別病虫害の発生状況⑧都市公園樹、学校構内樹

樹種	調査本数	虫	害	病虫害
クスノキ	233	ミノガ(+~+)クスサン(-)		くもの巣病 (-)
クロマツ	390	{マツノシンクイムシ(+) マツカキカイガラ(-) マツオオアブラムシ(-)}		葉ふるい病 (-)
カイズカイブキ	201	ミノガ(-)		芽枯れ病 (-)
ヒマラヤシダー	247	ミノガ(+~+)マツカレハ(-~+)		
イヌマキ	118	マキアカマルカイガラ(+~+)マキシハアブラムシ(-~+)		すす病 (-)
アラカシ	52	ミノガ(+) トビイロマルカイガラ(-~+)		{すす病(-~+) うどんこ病(-~+)}
ホルトノキ	59	{ミノガ(+) カメノコロウムシ(-)}	ツノロウカイガラ(-~+)	炭そ病 (-)
ナギ	17	ツノロウカイガラ(+) カキカイガラ(-)		
モッコク	25	ミノロウカイガラ(-~+) ミノガ(-) モッコクハマキ(-)		
ヒイラギ	144	ミノガ(+) カイガラムシ(-)		炭そ病 (-)
モクセイ	64	ミノガ(-~+) カイガラムシ(-) イボタガ(-)		
サンゴジュ	574	ミノガ(+~+)モクキバチ(+) ドガネブイブイ(+) ヒメコガネ(+) ツノロウカイガラ(-~+) アオバハゴロモ(-)		
キョウチクトウ	130	キョウチクトウアブラムシ(+~+) トウガネブイブイ(-)		
ハマヒサカキ	290	{ツノロウカイガラ(+) カメノコロウムシ(-~+) ミノガ(-)}		
マサキ	1,320	ユウマダラエダシヤク(+~+) ツノロウカイガラムシ(+) カメノコロウムシ(+) ルビロウカイガラ(-~+) ミノウスバ(-~+) トビイロマルカイガラ(-~+)		うどんこ病(+~+) すす病(+) 炭そ病(-)
ツツジ	432	ツツジゲンバイムシ(+~+) ミノガ(-)		もち病 (-)
イスノキ	252	{イスノキアブラムシ(+) アオバハゴロモ(-) カキカイガラ(-)}		
クチナシ	50	カメノコロウムシ(+) オオスカシバ(+)		
イチョウ	96	クスサン(+) ミノガ(-~+)		
プラタナス	50	ミノガ(+~+) モンシロドクガ(-~+)		褐斑病 (-)
ニセアカシア	173	ミノガ(+~+) アブラムシ(+)		
メタセコイア	34	ミノガ(-)		
ケヤキ	118	ミノガ(-)		
ナンキンハゼ	81	ミノガ(+) シンジュサン(-~+) ヒメクロイラガ(-)		
サクラ	561	{ミノガ(+~+) ヒメクロイラガ(+) モンクシャチホコ(+) リンゴケンモン(-~+) アブラムシ(-)}		{せん孔病(+) こうやく病(-~+)}
ポプラ	215	{セグロシャチホコ(+~+) ツマアカシャチホコ(+) ドロノキハムシ(-) マイマイガ(-)}		落葉病 (+)
シダレヤナギ	99	アブラムシ(+) ツマアカシャチホコ(-~+)		さび病 (+)

の落葉病、ヤナギのさび病等が多かった。

C. 学校構内樹

学校構内樹35種類の調査から、ミノガ類の被害が多くの樹種に認められ、ほかの虫害でも公園樹と発生傾向、程度にはあまり差はみられなかった。

3. まとめ

① 緑地形態別にみると、病虫害の種類、傾向等にはあまり差がみられないが、街路樹ではその景観的価値を著しく阻害している場合が多い。

② 緑化樹木に対してきわめて多くの種類の病虫害が広範囲に発生しているが、中でもミノガ、カイガラムシ、アブラムシ類はほかにくらべて寄生の範囲、発生量が目立って多く、これらのいわゆる都市型虫害の発生は年々増加する傾向にあるように思われる。本年は特にミノガ類は異常発生と思われるほど発生が多かったが、これは気象条件も大きな因子と思われる。

③ 緑化樹木病虫害の中で、ミノガラムシ、アブラムシ、すす病等は早急に防除対策を確立すべきであるが、薬剤施用のみならず樹木の環境管理面からみた防除法の究明もなされなければならない。